



交野市議会議員 みうら 美代子

【自宅】〒576-0033 交野市私市6-18-28 TEL・FAX: 072-893-0199

【議会】〒576-8502 交野市私部1-1-1 TEL: 072-892-0121 (代表)

<http://www.miura-miyoko.net/>

みうら美代子

検索

ごあいさつ〈交野市の現状課題について〉

保育所の待機児童については、4月1日現在、昨年度並み(昨年度は18人)の待機児童数が出ると推測していると言われてしています。これまで小規模保育など要件が緩和され民間の力を活用するなどで定員の拡充をして、平成26年から29年までの4年間で総数283人の定員増をしてきましたが、本市にはなお待機児童がおり、今後も定員の拡充は必要と考えています。

私市1丁目に築45年になる「あまだのみや幼稚園」があります。借地の上に建っているため、長寿命化してもコスト効果が低いことから、森区にある森新池を埋め立て、そこに移転建て替えをすることになりました。森新池は農業用ため池で川から水を引っぱってできているので、池を埋めても水害の心配はないとのこと。さらに財政効果の期待もあり、民間活力を生かし平成31年度早期に民営化を実施するとされていますが、保護者アンケートなども実施して、移管法人の選定に慎重にあたるということです。

さて、今、交野市の公共施設で築30年以上経過した施設は全体の73%あり、そのうち学校教育系施設が72%を占めています。築30年経過で大規模改修、築60年で建て替えをすると想定すると、今後40年間で863億円かかる計算になり、年平均21.6億円かかります。ここ数年の公共施設の投資的経費の平均7.4億円の2.8倍になります。

市役所本庁舎は昭和46年築、青年の家は昭和51年築で、いずれも築40年以上経過しました。今後一番予算の少なかった平成28年度の4.9億円の数字を最低ライン予算として、今後40年でこれらの施設の改修建て替え工事が完了できるか試算すると、47%は維持更新できないことがわかりました。つまり、公共施設を半減しなければならないということです。しかしそれはいたしかねるため、民営化を含め運営の見直しや未利用地の賃貸・売却の活用や施設の集約化・複合化による公共施設総量の削減が必要になり、今後も引き続き検討していきます。

さらに学校施設の老朽化問題に加え、子どもたちの学ぶ環境としてこれまで小中連携を進めてきましたが、今後小中一貫教育を模索していきます。少子化の一方で、時代とともに進化するICT(情報技術)により子どもの成長も著しく、その成長に対応するための学園構想であると聞いています。

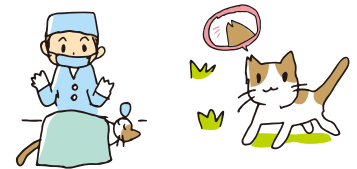
持続可能な交野市のために様々な問題・課題がありますが、30年度も全力で頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



■野良猫の避妊去勢について

【質問】野良猫を避妊去勢したくて苦労して捕まえても、動物病院が自由報酬であるため決まりがないことや手術頭数に限りがあることなどで、手術までの間、市民の方が苦労されているとお聞きしている。現状、野良猫の避妊去勢手術の補助金対象の動物病院は交野市内に限られているが、補助金の対象を交野市外に拡充できないか。

【答弁】補助制度が始まって1年3か月であり、もう少し様子を見たい。



■公有財産の未利用地の活用について

【質問】現在の市の未利用地の活用の現状は。一方でまだまだ利用されていない土地がある。高齢者や障がい者など福祉施策の一環として、花や野菜づくりなど有効な土地の活用をお願いしたい。さらに今後、人口減少や相続問題などから自己管理できない土地の寄付が増えると想定されるため、その寄付者が土地活用の意向を示された場合の対応もお願いしたい。

【答弁】これまで市有財産利活用検討委員会を設置し総合検証を行ったうえで、貸し付けや売却条件の整理など検討を重ねた結果、平成24年から28年の5年間で売却処分の実績は23億円になる。財産管理課を窓口、今後新たに策定する基準等に照らし寄付を受けたい。さらに、寄付者の意向の反映に努める。

■子育て支援について

【質問】待機児童について、今後の見通しは。また、国の幼児教育、保育の無償化が検討されているが受け皿は大丈夫か。

【答弁】少子化の減少が計画当初より緩やかで、0歳から11歳の将来推計人口を上方修正する予定。待機児童が増える可能性もあり、受け皿に関しては国の動向に注視し定員拡大に取り組む。

【質問】子ども医療費を高校生まで拡充すると1800万円かかるとのことだが、年齢引き上げの考えはないか。

【答弁】限られた予算の中、大阪府下の動向も踏まえて検討する。



みうら美代子が気になるアレコレを調査! トピックス2018

■File 007: 子育て支援

*妊婦健診費用助成…10万→12万円に *産婦検診(身体・心)の実施 *新生児聴覚検査の助成
*産婦検診及び新生児聴覚検査の助成は今年度中にスタート

■File 008: 高齢者支援

大阪市立大学付属植物園の入園料が、交野市民65歳以上は無料に(植物園メイトカード作成)
*住所・氏名・年齢を確認できる公的証明書(免許証・保険証等)を植物園事務所まで
ご持参ください(顔写真は事務所にて撮影)。



■大阪市立大学附属植物園(通称・私市植物園)について

【質問】昨年6月議会で、大阪市立大学附属植物園(通称・私市植物園)をシティープロモーションにも繋がる魅力的な施設として、高齢者の健康増進に寄与するものとして、また、生涯学習の観点から65歳以上の方が無料で入場できないか質問したが、その後の進捗は。無料化した場合、財政負担はどうか。



【答弁】植物園と市の双方にとってより良い協力関係を築くため包括連携協定を前提とした検討会を複数回開催し、本年3月30日に包括連携協定を締結する運びとなった。財政負担に関しては、植物園側のご決断により65歳以上の方に限り、市が財政負担することなく無料化が実施されることとなった。

■「あまだのみや幼稚園」の移転候補地の森新池について

【質問】新園舎は森新池を埋め立て、新たに建設されるが、池の埋め立て等の整備に際して水害対策は大丈夫か。

【答弁】地元水利組合との協議調整のもと、造成後約200㎡を残すこととした。森新池は小久保川より農業用水を引きこんでいるので、森新池の埋め立て・造成により、埋め立て地や河川



に影響を与えるものではない。さらに、森新池は「防災・減災対策を重点的に推進するため池」として面積要件等から大阪府により指定されているが、老朽度が高くC評価とされている。このたびの整備で池の老朽化に伴う下流への災害リスクも解消され则认为。

■子育て支援について

【質問】昨年の議会で「交野病院産婦人科設置にかかる和解金3,600万円の使途」「産後ケア事業」「新生児聴覚検査」について質問したが現状は。

【答弁】産後間もない育児環境は地域との希薄化、核家族化等で産後の母子の心身の健康状態の早期発見・早期治療が望まれている。「交野病院の和解金」を有効に活用し、産後ケア事業を視野に入れ、産婦検診の助成、新生児聴覚検査の助成について平成30年度早期の実施にむけて検討を進める。

■プラネタリウムについて

【質問】市は摂南大学と連携し現在休止中の星の里いわふね内にあるプラネタリウムを手動で起動操作し、上映プログラムを制作して市内小学生に発表された。5,000万円以上かかるデジタル方式は、本市では無理。ならば手動でも動かしていただき、小学生の教材としてでもプラネタリウムの活用の是非検討を要望する。



【答弁】天体研修センター内のプラネタリウムは平成4年に整備し、最盛期には年間1万4,000人を超える利用があった。その後、投影機の老朽化で平成20年6月やむなく休止した。今回摂南大学のPBL(プロジェクト体験型学習)事業として活用したいとの提案で学生たちが操作した。今後、プラネタリウムの状況を勘案し、産官学の連携により活用方法を検討したい。

1, 一般職、特別職、教育長並びに水道事業管理者職員の給与カットに関する条例について反対しました

【反対の理由】 交野市一般職の職員の給与に関して、本年2月に財政運営基本方針が策定され、10年後に市の財政が足りないとの結論が出た途端に職員の一律の給与カット案が上程されました。民間では労使間で給料のベースアップが議論され、人材の獲得競争に至っています。市長は有能な職員の能力を引出し、これまで以上に事業の効率化や必要な事業の民営化、さらにはシティープロモーションやイノベーションなど市の経営に積極的に取り組むことが先決ではないでしょうか。同時に、特別職等の給与も職員の理由と同様に安易な報酬カットはすべきでないと考えます。

黒田市長は、「人は財」と言われました。職員は交野市の発展のためになくてはならない人材です。年間6,000万円の金をどのように生み出すのか、どのように節約するのかを総合的に考え、人件費カットは最後の切り札であり、今ではないとの考えに基づき反対しました。

2, 〈議員提出議案〉 議員報酬カットに関する条例について反対しました

【反対の理由】 このたび、議員報酬5%カットの案が提案されました。提案議員が説明に使った資料は、7万~9万人未満の人口における90市の報酬一覧を参考資料とし、議員定数をかけた議会費総額は記載されていません。議員報酬を単純に比較すべきか議会費総額を比較すべきかは、市それぞれの事情が違い、この資料だけで報酬を下げるべきだという判断に使うべきではない。

今後、交野市議会として報酬のみならず定数や議会の活性化や効率化など、どうあるべきか議会改革委員会等で議論すべきである、と反対しました。

3, 一般会計予算について賛成しました

【賛成の理由】

- ①未来への投資として、老朽化した認定こども園移転建て替え候補地である森新池の測量調査費が組み込まれました。
- ②子育て支援として妊婦健診の2万円の助成増額をはじめ、妊婦歯科検診の実施など安心して子どもを産み育てる環境がさらに改善されました。
- ③教育面で発達段階に応じた9年間の系統性のあるプログラミング教育推進のために、他市より先んじて人型ロボットを導入しようとしていることは非常に興味深く思います。
- ④星田駅周辺の土地区画整理事業に伴うインフラ整備にかかる事業では、交野市の更なる発展に多くの市民が期待を寄せています。

その他、市民の安心安全のために、浸水被害軽減のための調整池の整備や非常用発電装置の設置など、新規事業の一部を申し上げました。今後もさらに見直しが必要な事業や施策もあると思われませんが、30年度予算は集中と選択をされたものと考えます。

